

すがわら文化



総額12.5億円

全世代を守る5つのくらし応援

1. こども全員 子育て支援

こども1人
あたり
2万円



2. 高齢者全員 お買物券

65歳以上
1人あたり
1万円



3. 申込者全員 TODAPAY

過去最大！40%
プレミア
ム付与！



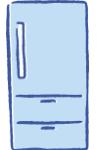
4. 市民全員 上下水道料金

基本料金
2か月
無料



5. さらに 省エネ家電

エアコン・冷
蔵庫買換え
補助2万円



皆様には新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

戸田市では、1月より国の重点支援地方交付金に関する物価高騰対策を実施いたします。

全世代を守るくらし応援パッケージとして、速やかに5つの支援策を講じることで、物価高騰に立ち向かう市民のくらしを応援いたします。政府の推奨メニューにある「おこめ券」の配布は、還元率の低さや配布コスト・スピードなどの観点から実施いたしません。

以下、5つの支援のポイントです。

1つ目は、「子育て応援手当」として、こども一人あたり20,000円を給付いたします。対象は平成19年4月2日から令和8年3月31日までに出生したこどもを監護する保護者で、令和8年1月末から支給を開始いたします。

2つ目は、「高齢者お買物券」として、高齢者一人あたり10,000円のお買物券を配布いたします。対象は令和8年1月1日時点で65歳以上の市民で、令和8年3月下旬から発送を開始いたします。

3つ目は、「プレミアム付き電子商品券」として、40%プレミアム付き電子商品券「TODAPAY」を10万セット発行いたします。対象はTODAPAY利用者全員で、1セット5,000円で7,000円分の電子商品券をもれなく購入できます。(2,000円

分プレミアム)となります。令和8年2月から受付を開始し、3月下旬から市内店舗にて利用を開始いたします。

4つ目は、「水道・下水道基本料金免除」として、2か月分の上下水道料金の基本料金(標準世帯の場合約3,000円)を減免いたします。対象は全世帯および全事業者で、令和8年3月～4月分(世帯によって4～5月分)の基本料金を減免いたします。

5つ目は、「省エネ家電買替え支援」として、省エネ性能に優れているエアコン2台まで、冷蔵庫1台までの買い替え費用を1台あたり2万円(最大3件6万円)まで補助いたします。本事業は既存事業ですので、令和7年4月以降購入分まで遡及した申請も可能です。対象は今年度当該補助を受けていない全市民で、申請期間は令和8年1月13日～3月2日までとなります。ご不明な点は戸田市役所までお問い合わせいただければと存じます。

今年の干支は午(うま)です。風を切って走る馬は力強さの象徴ですが、耳をよく動かして小さな変化にも立ち止まって確かめる繊細さも持ちあわせています。令和8年も市民の命とくらしを守るために、馬のように駆け巡り、現場の声に耳を澄ませて一歩一歩、着実に前進してまいります。

令和8年1月

戸田市長 菅原 文仁

市長最新ニュース



▲11/21 定例記者会見



▲12/14 戸田マラソン10km完走



▲12/26 年末も駅で活動報告



▲1/1 市内各所の神社を参拝



▲1/5 市役所仕事始め式

市長就任以降の行財政改革

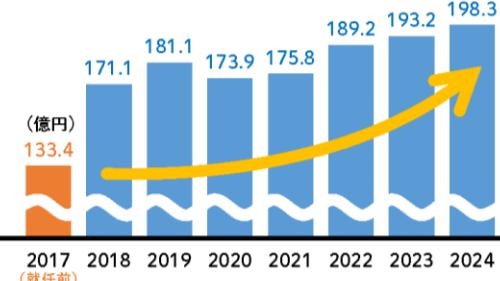
日 頃より、市政運営にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。2018年3月に市長の職務をお預かりして以来、私は二宮尊徳の「入るを量りて出するを制す」という考え方を大切にして、戸田市の財政運営を執り行ってまいりました。

大切なことは、単に節約するだけでなく、地域の魅力を高めて財源を生み、収入に見合った支出計画で必要な将来投資や不測の事態に備えることです。歳入を量り、歳出の効果を見定め、真に必要な施策への「選択と集中」により、健全で持続可能な財政は実現します。

今回は、私の市長就任からの7年間の財政運営について振り返ります。

～市の基金残高を65億円増加させました～

基金残高(基金合計額)



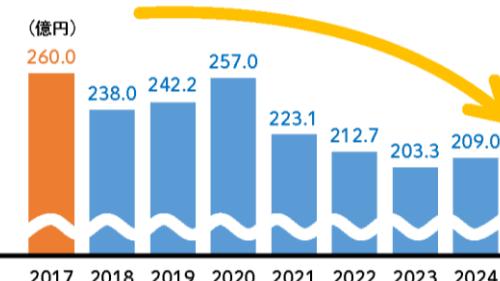
7年で64.9億円増加

基 金残高は、いわば市の貯金です。家庭の貯蓄と同様、様々な目的で基金を創設し、その残高を増やす努力を進めてまいりました。

市長就任前の2017年度末には、戸田市の基金残高は約133億円でしたが、2024年度末の市の基金残高は約198億円となりました。この7年間の実績で、基金残高は約65億円ほど増加しました。

～市の借金を51億円減少させました～

市債残高(一般会計決算)



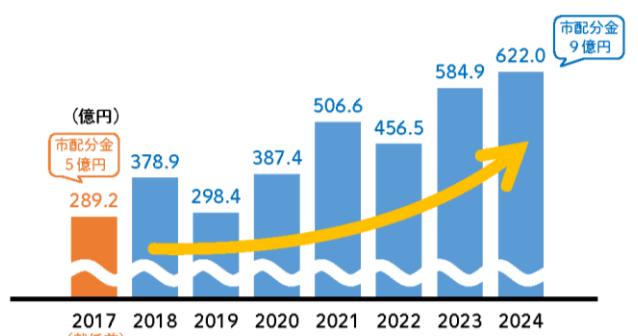
7年で51.0億円減少

市 債残高は市の借金であり、残高の減少にも気を配りながら財政運営を行ってまいりました。

就任前の2017年度末には、市の借金である市債残高は約260億円でしたが、2024年度末には約209億円となりました。この7年間の実績で、市債残高は約51億円ほど減少しました。

～ボートレースの売上を2.1倍に増やしました～

ボートレース売上(一般会計決算)



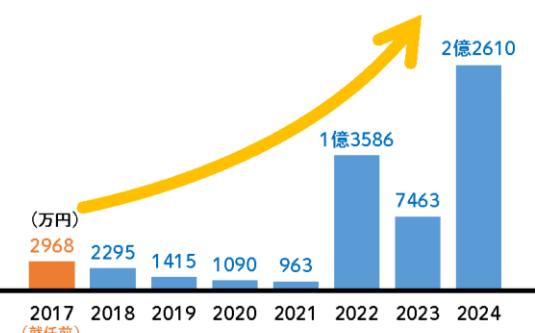
7年で2.1倍増加

税 以外の市の財源の中核であるボートレース戸田の経営者(企業長)として、地域貢献などの取り組みを実施しつつ、ビッグレースの誘致やインターネット投票の促進など、売上向上に力を入れてまいりました。

就任前の2017年度末には、決算額(売上額)が約289億円でしたが、2024年度末には、333億円増加して約622億円となり、戸田市への配分金も2025年度は13億円となりました。この7年間で、ボートレースの売上げは約2.1倍ほど増加しました。

～ふるさと納税を7.6倍に増やしました～

戸田市ふるさと納税実績



7年で7.6倍増加

市 長2期目の公約では「ふるさと納税額の向上」を掲げ、私自身がトップセールスで市内企業へ出向いて市内の魅力的な商品やサービスの発掘を行ない、ふるさと納税サイトなどに発信を行ってまいりました。

就任前の2017年度末には、ふるさと納税額は約3000万円でしたが、2024年度末には2億2000万円を超えました。この7年間の実績で、ふるさと納税額は約7.6倍ほど増加しました。

～納税率を県内一位に向上しました～

市税の額と納税率

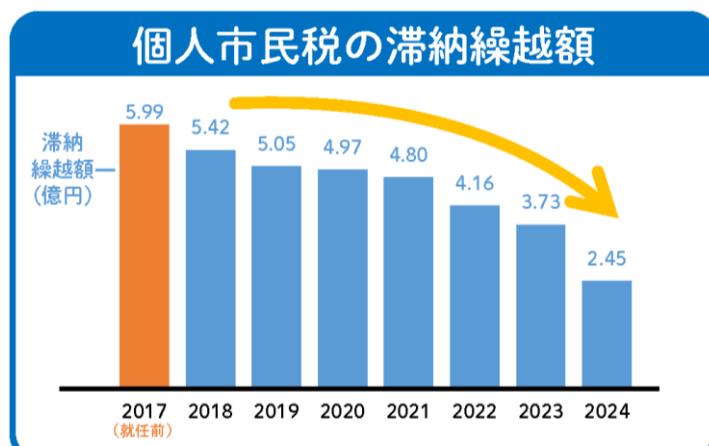


7年で20.0億円増加

就任以来、「まじめに納税している市民の皆様の税への信頼を揺るがさないこと」を基本姿勢に、課税と徴収の最終責任者として徴収体制の強化や県との人事交流、多様な納付手段の導入など様々な納税率向上を図ってまいりました。

就任前の2017年度末の市民税の納税率は94.2%、納税額は289億円でしたが、2024年度末には納税率は97.5%となり納税額は309億円に上昇しました。この7年間の実績で、納税率が3.3ポイント上昇し、約20億円市税額が増加しています。

～滞納額を約60%削減しました～



7年で6割削減

市 税の滞納は決して放置してはなりません。ウッカリをなくし、ズルは決して許さない強い姿勢で公正公平な税務執行を貫き、滞納初期の方に寄り添う相談支援や悪質な滞納者への厳正な対処を実施しました。

就任前の2017年度末には、個人市民税の滞納総額が約5億9900万円と厳しい状況でしたが、2024年度末には滞納総額は2億4500万円まで減少しました。徴収率も約13%ほど上昇し、この7年間の実績で、滞納額を約60%(3億5,000万円)ほど削減しました。



これらの取組みにより、戸田市は個人住民税について、収入済額圧縮県内2位(2023年度)、納税率アップ県内1位(2024年度)と2年連続で埼玉県表彰を受賞いたしました。

～国庫財源を1.5倍に増やしました～

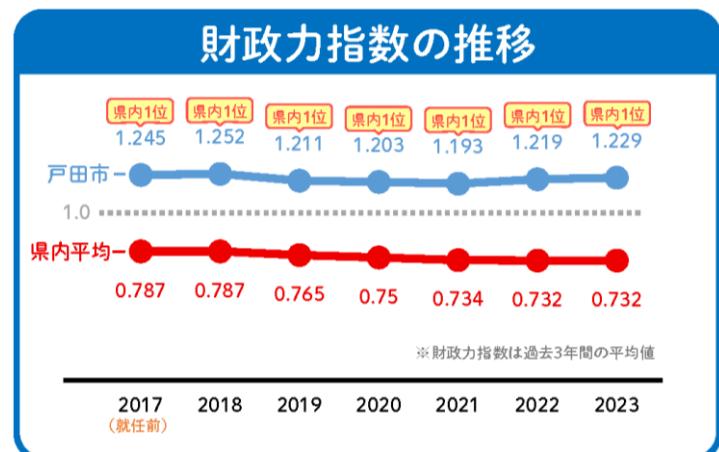


7年で1.5倍増加

戸 戸市は地方交付税不交付団体のため、市の一般財源の負担を減らし、国庫支出金の活用を徹底的に進める必要があります。このため、国の支援策の調査研究を徹底的に行うとともに、新規事業についても、国の支援が受けられるかどうかを確認しながら事業を組み立てることで、大規模な事業にも挑戦できるようになりました。

就任前の2017年度末には、国庫支出金の歳入額は約89億円でしたが、2024年度末には約134億円となりました。(2020年度は特別定額給付金約140億円を含む)この7年間の実績で、戸田市は国庫財源を約45億円ほど増額することができ、1.5倍に増やしました。

～財政力県内一位をキープしました～



県内1位をキープ

財 政力指数とは、地方自治体が自力でどれだけ財政を貢献するかを示す客観的な指標です。実際に戸田市の財政のやりくりは年々厳しさを増していますが、県内自治体の平均に比べても安定的な財政力(県内一位)を維持しております。

戸田市の財政力の源泉は、長期的に続いている人口増加や地価上昇、そして地の利による産業の流入が続いていることが要因です。先人が築き上げた戸田市の高い財政力を維持するため、これまでの経験を知識を活かして、人口の維持と定着、住みやすさと産業活性化の両立といったバランスの取れた行財政運営を進めてまいりたいと考えております。

【政治の根本は国民にあり】

税 は国や社会を支える「信頼の証」であり、国民を苦しめるものではありません。

南洲遺訓の一節に、「租税を薄くして民を裕(豊か)にするは、即ち国力を養成するなり」と記されています。

今、政治が果たすべきことは、税をいたずらに引き上げることではありません。限られた財源を最大限に活かす「賢い支出」と「着実な歳入確保」に努めながら、行政の無駄を無くし、効率を高める不断の改善を積み重ねていくことにあります。

市長の責任は、市民の皆様からお預かりした税金やその他の貴重な財源をしっかりと確保し、教育・子育て・福祉・防災など市民生活に直結する公共サービスへ確実に投じ、地域経済の好循環を力強く生み出していくことです。

私は今後も、政策の優先順位を常に見直し、市民の皆様と対話を重ねながら、市民目線を大切にして、健全で活力ある戸田市を次の時代に引き継いでいく決意です。



市長公約の達成率 97.9%

4年前に私は81項目の公約「安心・希望・持続可能を実現する9つの挑戦」を掲げました。選挙公約は市民の皆様と大切な「市民との約束」であり、「選挙の時だけの話」ではありません。

そこで、公約達成状況を客観的に評価・検証するため、「戸田市長すがわら文仁 公約検証大会」を実施しました。

この公約検証委員会では、地方行政や経済、市民活動などの専門家を外部から3名お招きし、公約の81項目の達成状況を検証していただき、「達成」「概ね達成」「一部実施」「未実施」という区分で評価、公表を行いました。その結果「達成」「概ね達成」をあわせた公約達成率(公約通信簿)は97.9%となり、4年前の96.5%を上回るものとなりました。

この結果は、決して私一人で成し得たものではありません。ひどく多くの市民の皆様からの叱咤激励と、ワンチームで市民のために奮闘してきた市職員努力が実を結んだものです。もちろん、新たな課題や道半ばの課題もあります。検証結果や、市民の皆様のご意見を真摯に受け止め、「公約・実行・検証・改善」のサイクルを磨き上げ、さらなる挑戦へつなげてまいります。



【日時】2025年11月29日(土)

【場所】上戸田地域交流センター

【内容】1.市長公約の進捗、活動報告
2.パネリストによる公約の検証と討論会

▼公約検証委員の皆様



委員長
まつもとたけひろ
松本武洋氏
前和光市長、
関東学院大学経
済学部教授



委員
ながさわえい
永沢映氏
公益財団法人
いきいき埼玉
理事長



委員
へんみかおり
辻見香織氏
(株)ウイルパート
ナーズ代表、
中小企業診断士

▼公約検証の結果

	◎ 達成	○ 概ね達成	△ 一部実施	✗ 未実施
戸田を動かす 3×3=9つの挑戦	83.5%	14.4%	2.1%	0.0%
「未来への投資」で元気をつくる	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
01 教育日本一	92.6%	7.4%	0.0%	0.0%
02 子育ての安心	85.2%	14.8%	0.0%	0.0%
03 経済の好循環	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%
「安心のくらし」を全力でまもる	80.3%	17.3%	2.5%	0.0%
04 高齢者・障がい者	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%
05 命と暮らし	88.9%	7.4%	3.7%	0.0%
06 健康長寿	74.1%	22.2%	3.7%	0.0%
「人・自然・街」を共感でつなぐ	81.5%	14.8%	3.7%	0.0%
07 人と街	74.1%	22.2%	3.7%	0.0%
08 自然と文化・スポーツ	88.9%	7.4%	3.7%	0.0%
09 地域と市役所	81.5%	14.8%	3.7%	0.0%

～実現した主な公約～

01 命と健康を守りコロナ克服へ

- 迅速なワクチン接種と後遺症外来開設によるコロナ克服の推進
- 高校生までのこども医療費およびひとり親家庭医療費の無償化
- 認知症やがん対策条例の制定と医療用補正具・補聴器への助成
- 全小学校でのキッズ健幸アンバサダー養成と食育推進の強化

02 共に支え合う優しいまち

- シニア社会参加推進プラン策定と応援サイトでの情報発信
- 県内初の介護ロボットやICT機器の導入支援事業の実施
- パートナーシップ制度導入や多文化共生の「ことばのひろば」設置
- 児童発達支援センターへの個別療育プログラム導入と支援強化

03 災害に強く安全なまち

- 大規模雨水貯留管の整備と3D都市モデルによる浸水対策推進
- 中学生防災士の養成とARを活用した実践的な防災訓練の実施
- 市内402台の防犯カメラ体制構築と青パト平日増車の実施
- 県内初のネット誹謗中傷防止条例制定と専門家相談体制の確立

04 子育て支援の充実

- 県内初の産後サポートクーポン配布と不妊治療の助成拡充
- 3年連続待機児童ゼロの達成と市独自の保育士応援手当創設
- 第3子以降の学校給食費完全無償化による家計負担の軽減
- こども家庭センター創設による虐待防止と包括的支援の確立

05 誰一人取り残さない教育

- RST導入と教育総合DB構築による個別最適な学びの推進
- 不登校児童生徒のための校内サポートルームを全小中学校に設置
- 戸田第一小学校の建て替えや新曾小・芦原小の増築等を完遂
- マイナンバーカードによる図書館貸出や手続のデジタル化完了

06 地域の誇りを高める

- スポーツ推進条例と文化芸術推進条例の制定および計画策定
- ふるさと納税額が3年間で約2億2600万円へ飛躍的増加
- 町会会館のWi-Fi整備率80%達成と多世代交流の促進
- こども一日市長体験や対話形式の市政座談会による市民参画

07 環境と経済の好循環

- 2050年ゼロカーボンシティ表明とSDGsパートナー認証
- プレミアム付電子商品券TODAP AY発行と3万人加入
- 県内初のDX伴走型支援事業による市内事業者のIT化支援
- 市の鳥「カワセミ」制定と人と動物の共生推進条例の制定

08 豊かな住環境づくり

- シェアサイクルポート88か所増設とサイクルマップの作成
- 市内全小学校の平日遊び場開放とボール遊び拠点の順次整備
- モデル公園3か所の大規模リニューアルと利活用社会実験
- 上戸田川・さくら川の河道整備と道溝へのキャンプ場整備

09 未来志向の行政

- 書かない窓口とおくやみコーナーの設置やスマホ申請の推進
- 手数料等のPOSレジ導入による厅内収納の全面キャッシュレス化
- 全国初の生成AI活用ガイド作成と安全な業務利用の導入
- 職員による改善提案「ひとり1カイゼン」3年で1,212件の実践

公約以外の主な実績

- 内閣府から「SDGs未来都市」に選定され高い評価を獲得
- 全小中学校の全教室へ電子黒板機能付きプロジェクターを設置
- 全ての小中学校への防犯警備員の配置とオートロックの設置
- 水道料金4か月減免や省エネ家電買替補助による物価高騰対策



戸田市長 すがわら文仁
公式LINEを始めました。
ご登録よろしくお願いします。

